

COVID-19 関連の規制を解除した英国で新規感染者が 予想外に減少し、科学者たちがその解釈に苦慮を。

Surprise dip in UK COVID cases baffles researchers

Few researchers anticipated July's sharp drop in recorded infections.

By Philip Ball Nature | Vol 596 | 12 August 2021 | 175

イギリスで 2021 年の初めに COVID-19 の感染者が急上昇した(7 月 15 日 60,674 人)後、7 月後半に感染者が急落(8 月 1 に 20,430 人)したことに、科学者たちは頭を悩ませています。「本当に何が起きているか誰も分からない」と、ロンドン大学衛生熱帯医学大学院の疫学者 J. Edmunds 博士は述べています。特に、この突然の傾向が示すのが複雑な社会的要因によって引き起こされたブリップであるかどうかは明らかではありません。

イギリスでは国の予防接種の展開が成功したにもかかわらず、より感染性の強い SARS-CoV-2 のデルタ株の感染拡大が重大な危機を引き起こしています。6 月以来連日報告される 100,000 も

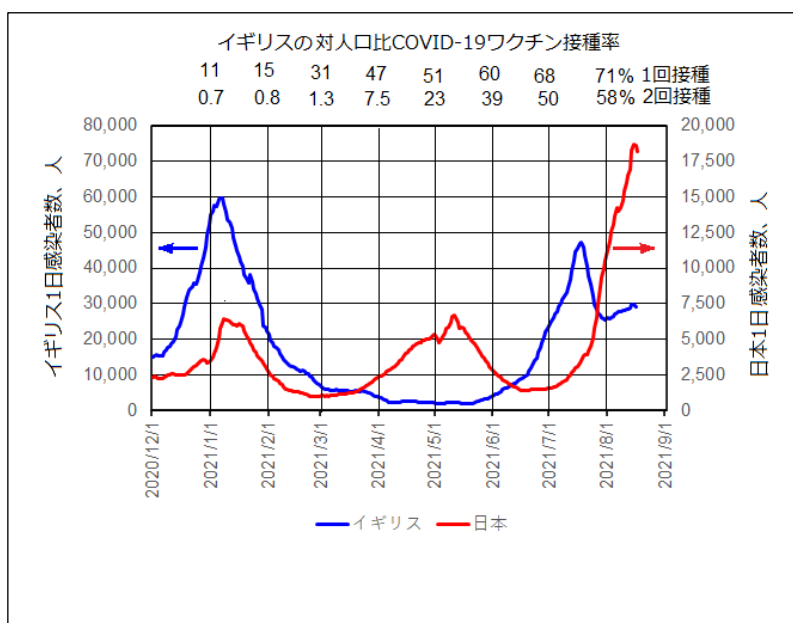
の新しい症例の予測につながった感染症の指数関数的拡大は、国民保健サービス(NHS)が入院患者に圧倒される恐れがありました。そのような状況の下で、多くの研究者は 7 月 19 日のイギリス政府によるマスクの着用、ナイトクラブやその他の場所の閉鎖などの規制の全面緩和は無謀だと指摘していました。

全面緩和はどのような効果があるのかを正確に知るのはまだ早すぎます。新規感染者数及び入院者数がデータに表示されるまでしばらくかかるからです。公衆衛生の専門家は少ないですが、最近の急激な新規感染者及び入院者数の減少を解釈するのに苦労しています。

集団免疫ではない

「イギリスで、ウイルスの拡散を止めるのに十分な集団免疫を、ワクチン接種及び自然感染を通じて蓄積したということには意味がない」と、Edmunds 博士は述べています。「感染者数の減少はある程度前例がなく、以前は封鎖後にのみ見られたものですが、それはどこでも起きているようだった。しかし、集団免疫はさまざまな場所でさまざまな時に成立するだろう」と彼は指摘しています。

イギリスの成人人口の約 70%が COVID-19 に対するワクチンを完全に接種したにもかかわらず、ウイルスに対して感受性の高い人々の大きなプールがまだあります。それは 16 歳から 24 歳の人達で、完全にワクチン接種をした人及び以前に病気から回復した人の間に「突破的感染」もありますが彼らのほとんどはワクチン接種を受けていないか、まだ左右のジャブを受けていません。



感染率のランダムな変動は避けられないと、LSHTM の疫学モデラー G. Medley 博士は言い、「これはまさに、たとえば気候変動に直面しているような状況で、明らかな信号がデータに表示され、根底にある何かについて推測するためにどの点が合理的なのだろうか？」と述べています。

何日にもわたる症例数の減少は特定の根本的な原因を暗示しています。しかし、その原因は多くのものの組み合わせかもしれない」と Edmonds 博士は言います。7月中旬に開催された Euro2020 サッカートーナメントにスタジアムだけでなく、パブやバーそして個人宅に多くの人が集まるようになり、最初は、イギリスでの感染は急増しました。そこでその後の症例数の減少はより顕著に見えるのかもしれないと。

Edmonds 博士は、「それはこの時点で、男性のより高い感染率と一致している。イギリスの多くの人達は、彼らが最近、感染者の近くにいたということを追跡する NHS の感染症接触者追跡アプリによって警告されるようになった。アプリがピンとアラートが鳴ると、現在の動作を中断し、人々は自己隔離を余儀なくされた。しかし、このシステムがウイルスの拡散を遅らせる役割を果たした可能性がある」と Edmonds は述べています。

学校効果

減少のもう一つの主な理由は、学期の修了である可能性があります。イギリスでは多くの学校は 7月 23 日から休みに入りますが、これは、COVID-19 感染の減少効果を表示するには新しすぎる状況です。しかし、何人かの生徒の学校は 1 週間かそこら早く終わっており、多くの年長の学生は試験のあとすでに学校を休んでいましたので、学校に関連した感染の減少はすでに読み込み済みである可能性があります。このように、生徒の約 20% が自己隔離していました。「過去数週間にわたって、学齢期の子供たちの接触はかなり劇的に減少していた」と、Edmonds 博士は説明していました。

このような減少は、イギリスの感染源の大きさを反映し、今や学校と 18 歳未満の若い人は定期的な予防接種はしないという政府の最近の決定に影響を与えるでしょう。他の要因も関係している可能性がある、とロンドン大学の医療データ分析の専門家である C. Pagel 博士は言い、最近の温暖な気候により、屋外での社交が好まれており、このことが感染を減らしている可能性がある、とも指摘しています。

記録された症例の減少は、感染症数の真の減少ではなく COVID-19 についての検査を受けた人の減少の結果である可能性があります。Pagel 博士は、軽度の症状しかない場合、彼らは自己隔離する余裕がなく、また休日の計画を危険にさらしたくないので、彼らは試験を受けるのを嫌がるかもしれないと指摘しています。

イギリス、バーミンガム大学の臨床免疫学者 A. Richter 博士は、学期が終了したため、そして一般的な社会的疲労のため、PCR テストを受ける人が減る可能性があるため、これを現時点で定量化するのは難しいと警告しています。報告されている PCR 検査の数が減少し、PCR 検査に陽性の割合も減少しているかもしれないと言います。

イギリスでの入院患者の数もまた次第に減少してきています。7月 25 日には 836 人であったのが 8月 1 日には 645 人になりました。しかし、Pagel 博士は感染が再び忍び寄る可能性の兆候があることに注意するよう警鐘をならしています。8月の第 1 週を通して、毎日記録された症例はわずかに増加し 30,000 人のレベルになっているようです。

今後数日および数週間でさらなるデータは、例えば、イギリス国立統計局及び 10 万人以上の定

期的な在宅検査を実施しているロンドン大学コミュニティ感染(React)実時間評価プログラムは本当に何が起きているのか、いくつかの光を当てることができます。

今後の展望

規制の緩和が公共の行動を、したがって、感染症をどのように変えるかはまだわかっていません。Edmunds 博士は、「数ヶ月の内にイギリスでパンデミックが発生するかどうかは本当に重要だ。人の行動をうまく予測することはできない」と彼は言い、「たとえば、私たちの行動モデルにサッカーのユーロ選手権を含めていた人はいなかったが、サッカーの影響はますます可能性が高いように見え、それは本当に影響があった」と述べています。

彼は、今後、数週間にイングランドは何かを期待してスコットランドに目を向けるかもしれないとほのめかしていました。スコットランドの学校の休みとユーロ 2020 に関連した COVID-19 の感染者のピークの両方が数週間前にやってきましたが、感染者数は低い状態に留まりました。

しかし、研究者は、学校の生徒の復帰に同意し、9 月に大学生とオフィスワーカーだけでなく、最初のラウンドからの保護としてのワクチンは衰退し、別の上昇を煽る可能性があります。「夏は少し防火帯になりますが、再びパンデミックは緩やか進行し、秋にエスカレートするでしょう、」と Richter は指摘しています。

(飯山賢治訳)